拓水

題字は　県漁連三補会長

新年号

No. 184

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町 123
発行人　三浦清太郎
TEL 671-6685・681-6954
編集　拓水編集委員会
発行日　毎月 30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

今年こそ公害から海を守ろう

―海をきれいにする運動の強力な推進―

兵庫県農林部長　長谷川敏男

漁村の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年本県の農林部長を拝命しまして、漁村の皆さんとも親しく接する機会を得ましたことを心から嬉しく思っている次第であります。

農業も同じことですが、とくに水産業の場合は、海という大自然を相手に日頃危険にさらされながら励まれておられる訳で、心から敬意を表するものであります。なかでもふくそうする海上交通の問題、絶え間なく発生する公害の問題等、漁業操業上支障を来すような色々な複雑な問題が横たわっており、その御苦労の程心からお察し申上げる次第でございます。

しかし、そのような環境のなかにありながら、本県の漁業生産高は年々伸びており、昨年は二百億円に達する見込で皆様の並々ならぬ御協力の賜と心から感謝申上げます。

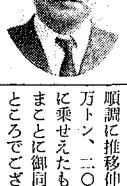
我が国の水産業も近年「資源培養型漁業の展開」とか「海洋開発の促進」とか、時代に即応したまことに近代的な夢に挑戦し、また実際に施策が講じられつつある現状であります。

しかし水産業のみに限らず、このような種々の様相を呈している現代の経済社会において、私は今こそ人間性というものをもう一度考え直す時機ではないかと痛感するものであります。

高度経済成長時代の歪みのもっとも大きな遺産が人間性の喪失ではないかと考えます。

漁村の皆さん、本年は日本経済も円切り上げ等によって並々ならぬものが予測されますが、そのなかにあって豊かな人間性を育て、明るい漁村づくりに邁進されることを切にお願いしつつ、新年の挨拶にかえさせていただきます。

兵庫県水産課長　森本勝巳



漁村の皆さん、明けましておめでとうございます。

昨年はアメリカのドル防衛に端を発した世界的な通貨調整や、中華人民共和国の国連参加の実現、或は印度・パキスタン紛争など、まことにめまぐるしく衝撃的な年でありました。

本県における水産面においても、色々のことがありましたが、皆さんのご精進で但馬の沖合いか、内海のサイドと運輸サイドで相当煮つめてきたようですが、一歩誤れば瀬戸内海の漁業を否定しかねない危険性を含んでいるように思われます。本県でも県漁連を中心として交渉されておりますが、明石海峡や、友ケ島水道の関係者のみの問題とせず、県下全漁民の関心と決意が大いに必要であります。

本年はこれら重要問題がめじろ押しに山積しておりますので、私も頑張りたいと覚悟しておりますが、業界挙げての御協力、御支援をお願いして新年のごあいさつといたします。

兵庫県信漁連会長　西上重弐

明けましておめでとうございます。県下漁村の浦浜では、ノリのかおりとカニの味覚に満ち満ちて、みなさま活気あふるる新春を迎えられたことでしょう。

昨年後半あれほどさわがれたニクソンショックも、幸いわれわれには直接的な影響もなく、むしろ推定県内総水揚二百億円の高い生産性に支えられて、ここに新しい年を迎えましたことは、誠にご同慶に存じます。

しかし今年はどうでしょうか。一ドル三〇八円の新為替レートによって、わが国経済は今までと全く異ったいわば未知の世界への適応を余儀なくされるに至りました。この結果、現在の景気停滞がさらに長期化し、中小企業や労働集約型、輸出依存型産業が苦境に陥ることが懸念されています。もちろん、政府は不況克服に財政金融面での思い切ったテコ入れをするでしょうが、わが国経済が再び本格的な安定成長をとり戻すまでには相当の期間を要するだろうと予測されております。

このような背景を考えますと、今度こそは、われわれ沿岸或いは沖合漁業にも重大な影響が生ずるものと思わねばなりません。ただ、それがどのような形であらわれるにせよ、われわれ漁業者が対応し得るのは、一に協同組合運動という団結を通じてのみであることは間違いありません。どうかみなさま、この点さらにご理解のうえ、漁協貯蓄の増強に、漁業共済の加入に、本年も一層のご努力ご協力をお願い申しあげます。

兵庫県漁連会長　三浦清太郎

明けましてお目出とうございます。

経済的には大きな波紋を呼んだニクソン声明による円・ドル問題、貿易問題で不況ムードに拍車をかけ、政治的には沖縄返還問題、中共の国連参加等国の内外を問わず波乱に満ちた一九七一年はなお数々の余韻を残して終りを告げ一九七二年の新春を迎えたのであります。

省みますると本県水産業にありましては流出油事故多発、赤潮等の公害問題・労働力不足問題等幾多の障害はありましたが、漁村の皆さんの挑ゆまぬご努力に国・県の諸施策が相加して内海におけるノリ養殖、日本海の沖合スルメイカ漁業の引き続く順調な伸びが主力となって総水揚が二〇〇億円の大台を突破したと推定され、まことにご同慶に存じます。

しかしながら、漁業をとりまく諸情勢は刻々動いており、我々が当面している漁場環境の保全と資源の維持培養、系統組織及び経営基盤の拡充強化・流通の改善問題等解決しなければならない問題は山積しております。

幸い国では公害対策について昨年中に関係法の政・省令が順次公布され、水産に直接関係ある水質汚濁防止法に係る県条例の改正・海洋汚染防止法、廃棄物処理及び清掃に関する法律等も本年中に施行され排水、油類、廃棄物等の海洋投棄禁止或は高度な規制が実施されることであり、又水協法、合併助成法・卸売市場法等を次々と改制定して、水産分野における諸問題解決に、強い姿勢を示しております。

この秋に当り我々は公害関係法の完全実施を監視するとともに漁場汚染要因の排除・予防に力を傾注し、併せて汚染漁場の復旧対策と結びつけたほんとうの栽培漁業確立のために試験を充実してゆきたいと考えております。

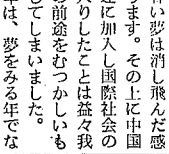
但馬では、本年からいよいよ栽培漁業と本格的に取り組むようになると思われますので内海での経験を十分生かしながら着実に進め、又その体制も充実したいと考えております。

本年は波荒い年の第一年目になりそうです。しかし水産業は国にとって重要性を認識されてくると思われますので、皆々様と力を合せて、本県の水産業の発展のために尽したいと存じます。よろしく御叱声を御願いする次第であります。

信漁連も昨年秋満二十周年を迎えまして、いよいよこれからが本当の活動期でありますが、ご承知のとおり金融情勢の最も厳しい年に直面しましたので、経営の安定をはかりつつみなさまのご期待にお応えすることはなかなか容易ではないと考えております。結局、資金量の充実以外に対処策はありませんので、恪段のご支援をお願いする次第であります。

年頭に臨み、所懐の一端を申し述べましたが、皆様のご健康とご多幸をお祈りしましてご挨拶といたします。

兵庫県立水産試験場長　井澤康夫



新年おめでとうございます。

昨年は、躍進の七〇年代の二年目ということで、我が国の経済は更に大きく伸びゆくものだと期待し、それ相当の努力を続けたのでしたが、米国のあがきは、ドル・ショックを呼び、大きく我国の上に圧力をかけ、甘い夢は消し飛んだ感があります。その上に中国が国連に加入し国際社会の仲間入りしたことは益々我が国の前途をむつかしいものにしてしまいました。

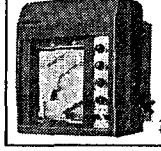
今年は、夢をみる年でなく、きびしい年となることを我々は覚悟しなければならぬと思います。幸い本県の漁業界にはドル・ショックなどには直接影響を受けることはないと思われますが、間接的には、魚価などひびくところもあると考えられますけれども、水産業は、食糧を荷う産業として、重要度を増してくることは、確実と思われます。我々は大いに努力しなければならぬと考えております。

そこで本年も昨年と同じ方向で進んで行って間違ないと思いますので、内海では、漁業を取りまく漁場環境を守ることと、更に栽培漁業推進のための試験研究を進めて行くつもりであります。公害の問題は、漁業存立のために大いに胸をはって取組んでゆかねばなりますまい。栽培漁業は、県種苗センターも四月には、設備も完成しますので、種苗生産に力を入れることは勿論でありますが、放流漁場と結びつけたほんとうの栽培漁業確立のために試験を充実してゆきたいと考えております。

但馬では、本年からいよいよ栽培漁業と本格的に取り組むようになると思われますので内海での経験を十分生かしながら着実に進め、又その体制も充実したいと考えております。

本年は波荒い年の第一年目になりそうです。しかし水産業は国にとって重要性を認識されてくると思われますので、皆々様と力を合せて、本県の水産業の発展のために尽したいと存じます。よろしく御叱声を御願いする次第であります。

Z－3型



待望の魚探機誕生

皆様の大漁を御約束する
小型から中型までの万能魚探
MODEL－ZE－31A：B：C：D
ZE－32A：B：C：
二周波魚探も出来ます

海上電機株式会社

本社　東京都千代田区神田佐久間町2　電話 294－7611
神戸営業所　神戸市生田区栄町32　電話 391－4301

坂井知事迎え 華やかに開会

第16回兵庫県漁協婦人部大会

〝家庭の和〟を強調する坂井知事

大会は定刻を過ぎた十時半、浜戸副会長（香住）の司会で開会され、先ず宮本勝江さん（佐野）の音頭による兵庫県漁協婦人部綱領①私たちは相携えて明るい漁村の建設に結束しましょう。②私たちは漁村の因習を打破し、婦人の地位を昂めましょう。③私たちは生活の計画化と合理化に努めましょう。④私たちは自信と誇りをもって漁協運動を推進しましょう。」を参加者全員が唱和し、引続き、村上民子県漁婦連会長、坂井時忠県知事がそれぞれ登壇し、主催者を代表して挨拶を行なった。

来賓祝辞は、労働省兵庫婦人少年室長馬場三千代氏、県漁連会長三浦清太郎氏、県信漁連会長西上重夫氏より祝いの言葉が送られ、大会に色を添えられた。

各方面より寄せられた祝電が披露された後、児島みや子副会長が登壇し、「今私達の漁村をとりまいている環境は決して恵まれたものではない、私達は今一度婦人部の使命と責任の重大さを自覚し、現状を黙視せず、政治、漁協運動にも漁村婦人の声を反映させよう」と力強い声で大会宣言を読みあげた。次いで「漁村婦人の声」をメーンタイトルにした意見発表が摂津、播磨、淡路、但馬の四地区代表により発表された。助言者には県水産課森井時忠県知事がそれぞれ登壇し、主催者を代表してあいさつがあった。

先ず、淡路地区洲本漁協婦人部綱島すみ子さんからの「働く婦人の多くなってきた漁協婦人部の悩み」が発表された。

これは「最近、外へ働きに出る婦人が多くなり、このため漁協婦人部の活動を行なうにも人が集まらず、又婦人部役員になり手がない」というもので、労働力不足に悩む今日の漁村の姿を切実に訴えた。

同じ悩みが摂津地区神戸市西部漁協婦人部、来田てる子さんから出され、特にのり養殖期間中の停滞は単に活動の停滞と云えるものでなく、今後益々のり養殖業が盛んになり又、漁獲も多様化すれば、婦人部組織にも大きく影響を及ぼすことにもなりかねないという不安があることを如実に物語っている。

又播磨地区からは岩見漁協婦人部井上輝子さんが「明るい漁村を育てる婦人」と題して、「急速に変化する現代社会において老後を楽しく暮すために毎日、日記をつけてはどうか、字の上手下手など気にせず、ありのままを書き残しています。後日これを読み返してみると大変楽しく日常生活の変化するさまが実に面白い。字を書くことに慣れれば、長期生活設計を図に表わすことも出来る。何か趣味を通じて仲間づくりをしよう、そして共に明るい漁村づくりに努めよう」と字を書くことに慣れない漁村婦人の生活が素直に表現され万場の拍手をあびた。

続いて発表に立った但馬地区香住町漁協婦人部駒井小糸さんは「若い漁船員をもつ婦人の悩み」として、近年但馬の主幹漁業である『沖合いかつり漁業』の順調な伸びは乗組員の収入増に連がり、喜ぶべきであるが反面若手船員は金使いが荒くなってきた。手近かに健全な娯楽施設のないことも原因の一つであるが如何にすれば、健全な生活状態に引き戻せるか」と、一見ぜいたくすぎる悩みともみえるが、これは、但馬だけでなく内海の漁家にも通ずる共通の悩みであり、結論は出ないまでも、活発な意見交換が行なわれた。

昼食後、「青少年非行と親の責任」について教育評論家水谷茂氏の特別講演があり、午前の部における発表とも連がり、青少年の考え行動とそれに起因する主張、風俗、断絶等々、一時間半の講演は有意義に過ぎたここで大会の行事は総て大過なく終り、漁協婦人部の歌を全員で合唱し閉会となるかと思われたが突然高砂漁協婦人部玉野君子さんより緊急動議が出され、「今、私達の生活の場である漁場は公害の影響で死の海と化しつつある。そこで私達の手で海をきれいにする運動に積極的に協力するため、ここにかかげる『私たちの力で、夫や息子たちの職場である〝海をきれいにする運動〟を推進しましょう』を本大会の決議として取上げてほしい」というもので、司会の浜戸副会長は村上会長と緊急協議し村上会長は、「只今の提案は誠に良いことだと思う。大いに生活できる環境を取り戻すため私達漁村婦人も共に手を携えこの運動を強力に推進すべきであると考えるので、皆さんの承認があれば、早速事務局と協議し決議案を作成する。」との意見により緊急動議は万場拍手をもって承認した。早速事務局は決議文の作成にとりかかる間、会場では大会決議の実行方法が協議され県漁婦連役員に一任されることになった。

事務局決議案は別項のとおり、大会会長より、朗読され、満場一致拍手をもってこれを採択し、大会は漁協婦人部の歌、北井りよ副会長（神戸市西部）の閉会の挨拶をもって、第十六回兵庫県漁協婦人部大会はその幕を閉じた。

講演中の水谷茂氏

優制度

限度額が引上げらる

丸隠扱いとはお一人百万円までの貯蓄額の利息に税金がかからないというお徳な制度です。

この制度の限度額が、昭和四十七年一月一日から、新規お預け、書替えの貯金について、百万円から百五十万円に引上げられます。

この制度を有利に利用するコツは、利息の有利な貯金に利用なさることです。

五人家族ならそれぞれの貯金百五十万円まで、合計七百五十万円までの利息は無税になります。

お申込みの手続は簡単です。この機会にハンコをお持ちの上、組合の窓口にお申し出下さい。

信漁連

海上安全交通法案

国会提出近し

今年、昭和47年は昨年にも増して激動変転の年であるようなそんな気がする。沖縄の問題もあるし、円ドルの問題、対中国の問題もあり、それはともかく、私ども最大の関心は公害始末をめぐるもろもろのことである。水産屋として云えば他産業の大勢力からジワリジワリと洋上の対決を迫られる年であるような気がする。この二月国会提出を目指して海上保安庁では問題の「海上安全交通法」案を着々準備中であり、一方水産庁では昨年施行になった「海洋水産資源開発促進法」の運用を始める構えをとっている。

海洋水産資源開発促進法について

この法律は漁業の健全な発展と水産物の安定供給のために、水産資源の開発と利用の合理化を促進することを目的としている。要するに魚類を増して、漁獲も増して、国民食糧を確保しようと云うことで、内容的には天然の沖合優良漁場であると農林大臣が指定する指定海域と、魚礁投石あるいはノリ養殖等を行って積極的開発を進める区域でありますよと各県知事が指定をする開発区域の両者を設けることだ。従って指定された海域と区域は漁業上特に重要であるから、この場所の海底を掘ったり、埋めたりする者はその旨を事前に届出なければならないし、またそうした工事施行に対して必要な勧告ができる（大臣、知事が）となっている。重要漁場でのなんと他産業に対する制限のゆるやかなことか、と嘆くのは私だけであるまい。しかしこうした弱い制限すら従来はなかったのだ。問題はこの法律によってこれから行われる指定海域と開発区域の指定に関してである。水産側はその広域化を、他産業はその縮少化をねがって激突することになると思う。問題はまだある。この法律には国の予算がない。当面第二次構改を投入すると云うことだが、一日も早く独自の予算獲得を強く望む必要がある。

海上安全交通法案について

この法案は、特定海域における船舶交通の安全を図ることを目的とするものだが、今までに何回も出そうになっては止められており、止めに入ったのは他でもない水産界である。それは水産側にとっては不利だと思われる点が多いからだ。しかし最近の海上交通事情、更に海上交通事故の多発等からみて、従来の海事関係法令だけでは間に合わず、海の道路交通法ともいえる海上安全交通法の必要性、これは既に高い。タンカー事故等の最大被害者は漁業で、海上交通の安全化は漁業の安全化は結構なことだ。しかしそれがため漁業操業が大きく制限され、漁業者のみに犠牲を求めようとする考え方に問題がある。

法案中に次のことが書かれている。「航路とその周辺の特定海域のうち政令で定める海域においては、工作物の設置又は改築は、海上保安庁長官の許可を受けなければならない」「航路等以外の特定海域において、政令で定める規模を超える工作物を設置し、又改築しようとする者は……」「特定海域とは瀬戸内海を指すらしいが、これでは魚礁沈設もノリ養殖も海上保安庁の許可がないとやれなくなる心配が持たれる。水産資源の開発区域の届出制、勧告制に比べて大変な違いと云える。この法案の工作物の中から漁業関係はすべて除いてもらいたいしその他巨大船の航行禁止航路内航行の義務づけ、速力制限、航路巾縮少、航路設定等の事前協議義務づけ等注文をつけたいことが数多くあるように思う。共同漁業権、区画漁業権の一斉更新も近いが、いよいよ漁業者が地先主義をすてて団結しなければならない時が到来している。（田寺）

船舶主機用3～1200馬力・船舶補機用3.5～1200馬力
底曳漁業の省力化に
たくましい力を――！
ヤンマーディーゼル

3ME15形〈15馬力〉　3M15形〈15馬力〉　2ES15形〈15馬力〉
ヤンマーディーゼル株式会社　本社・大阪市北区茶屋町62　支店 札幌・仙台・東京・金沢・名古屋・高松・広島・福岡　航使番号530

最高の性能と
最大の実績を誇る…
ブイの王様
ゼニライト
あらゆる漁場にあわせてゼニライトは約40種類をそろえて
皆様の御用命をお待ちしております。
お問合せは各県漁連へどうぞ。
株式会社銭屋アルミニウム製作所浮標事業部
池田市豊島南2丁目1176－1・Tel・0727(61)1231・Telex・5322－235
長崎Tel・0958(26)6653・Telex・7524－34・東京Tel・03(371)3681
Telex・252－2097・札幌0122(62)571

12月の漁況と海況（内海側）

◉海　況

8日大阪湾で実施した海洋観測結果によると湾奥部で表・中層13.2℃～14.8℃，底層では14.0℃～14.5℃，中央部では各層共15.4℃～16.3℃の水温値を示し平年比較で 1.0℃内外低目，反面友ケ島水道及びその北部海域については表・中層16.0℃台，底層17.0℃台の水温値を示して平年より各層1.0℃内外の高目，　9～10日の播磨灘では全域各層にわたって水温差はほとんど見られず中部で15.0℃～15.4℃，その他の海域では14.0℃台の水温を示し平年比較で前年と同様全域各層にわたって1.3℃～1.9℃の低水温分布となっている。一方13～14日の紀伊水道北部海域では西部で各層共15.0℃内外で平年並かやや高目，中・東部では表・中層で15.8℃～16.5℃，底層で17.0℃～17.9℃の水温値を示し表・中層で1.0℃内外，底層で1.2℃～1.5℃それぞれ前月に引続き高目に経過している。

◉漁　況

本月に入り本格的な寒波来襲と共に県下各地のノリ養殖は活況を呈しているのに反し漁船漁業は季節風の連吹が多くなったため出漁日が少なく，また急激な水温下降と共に回遊性魚族の外海逸脱と相まって前月より更に不振となった。現在の各海域における主対象魚としては明石瀬戸及び沖ノ瀬周辺海域ではアナゴ，マダコ，イイダコ，アイナメ，カサゴ，メバルなど。友ケ島水道南北海域ではタチウオ，ハゲ，イカ，ハマチ，タイ，エビなど，鳴門南部及び沼島周辺海域ではイカ，タコ，スズキ，アナゴ，ハゲ，小ダイ，メイタカレイ，ガザミ，コノシロなど。鳴門北部及び播磨灘中・西部海域ではスズキ，カレイ，イカ，アナゴなど，播磨灘北部及び鹿ノ瀬周辺海域ではイイダコ，カレイ，アナゴ，アイナメ，スズキ，カニ類となっている。

◉各　地

（註，以下は漁業別漁獲量は1日1隻当り@は1キロ当りの値段円，隻は操業隻数）

明石浦　小型底曳網メイタカレイ7～8キロ@1,300，イイダコ3～5キロ@300，ハゲ10キロ@長250，丸1,000，タコ10キロ@350，イカ5キロ@700，10隻。スズキ一本釣10キロ@600，30隻。ブンチン漕イイダコ20キロ@300，イシカレイ7キロ@600～1,000，5隻。

岩屋　アナゴ延縄100～180キロ@(大)800，(小)300，28隻。各一本釣タコ10～40キロ@360，30隻。カサゴ，メバル4～5キロ @900～1,000，40隻。カサゴ漕網10～15キロ@1,000，13隻。突棒ナマコ50キロ @青150，赤750，タコ5～8キロ@360，17隻。キス刺網15～40キロ @650～700，9隻。磯建網アイナメ，タナゴ30～40キロ@500，3隻。

由良　小型底曳網タイ17キロ@3,000，5隻。ハゲ10キロ @500，イカ20キロ@500 シラサエビ2キロ@800，その他20キロ@200，55隻。キス刺網20キロ @500 8隻。磯建網ハゲ50キロ@500，イカ10キロ @500，その他10キロ@600，35隻。各延縄タイ10キロ@3,000 8隻。ハゼ40キロ@300，8隻。アナゴ50キロ@450，その他7キロ，8隻。タチウオ曳縄70キロ@150，80隻。各一本釣タイ3キロ@3,100，10隻。ハマチ15キロ@500，30隻。突棒サザエ13キロ@300，アワビ7キロ@1,000，10隻。

沼島　小型底曳網ハリイカ50～100キロ@350，スズキ5～15キロ@ 600，アナゴ5～10キロ@300，40隻。各一本釣小ダイ3～5キロ@(大)2,700，(中) 2,200 (小)1,100，40隻。ハゲ20～25キロ@400，20隻。キス5～10キロ@500，2隻。タコ15キロ@350，2隻。ハス50キロ@(大)1,100，(中)800，(小)450，3隻。磯建網ハゲ15キロ@350，小ハゲ50キロ@50，27隻。突棒サザエ20キロ@300，アワビ5キロ@(小)800，3隻。

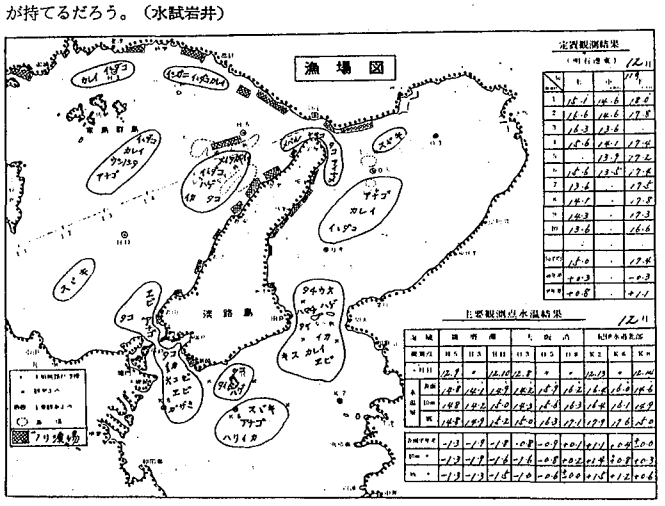
福良　小型底曳網メイタカレイ10キロ@600，オコゼ3キロ@1,800，タコ5キロ@300，イカ10キロ@300，20隻。石桁網ガザミ4キロ @1,000，シラサエビ3キロ@2,000，小エビ10キロ@400，ジャノメガザミ10キロ @300，20隻。タコ一本釣10キロ@300，40隻。突棒ウニ10箱1箱400，ナマコ10キロ@（赤）450，（青）50，アワビ5キロ@(大)1,100，(小)900，40隻。コノシロ刺網4,000キロ@70，2統。

◉本月の特記事項

- 昨年に引続き淡路沿岸でのタコ一本釣は本年も比較的漁期が長く好漁が続いており，また播磨灘中・西部でのスズキ曳網（1日1隻平均80キロ）及び大阪湾中部（中旬より西部寄り）のアナゴ延縄漁（1日1隻100～180キロ，内(大)60%，(小)40%）も昨年同様好漁が目立っている。
- 前月下旬後半より友ケ島水道周辺海域において曳縄によるタチウオ漁が再び活況を呈し連日70～80隻の出漁船をみ1日1隻70～100キロの釣獲（中型魚）でこれは近年に例をみないことである。

◉今後の見込み

今年のイカナゴの産卵時期については産卵場の環境水温が平年よりやや低目に経過しており従って昨年同様やや早目となる見込で中旬前半頃に始まり，中旬後半から下旬には盛期を迎え，今月下旬から来月上旬には稚仔発生となるだろう。また今冬は気象庁発表の長期予報によると例年より寒波来襲が多く寒冬型の予報なので発生稚仔の順調な拡散に期待が持てるだろう。（水試岩井）



強化プラスチック漁船　⑧

〝木船のあとに来るもの〟

高木博士のパンフレット

東京大学名誉教授の高木淳工学博士は，かって水産庁漁船課長を経験されたこともあり，現在は社団法人漁船協会，FRP漁船研究会の会長を引き受けておられて，わが国における造船とくに漁船の技術的な権威として国内，国外に広く知られた人である。

その高木博士が，小型漁船の船主の人たちのために「FRP漁船のすすめ」というパンフレットを発刊された。

以下，そのあらましを紹介してみよう。

★

造船材の特質を理解する

木船の材料は赤身で節のない腐り難いものを選ぶので適材が少なくなっていく。木船は海水に侵され，接合点とともにゆるみ，寿命がくる。すなわちはじめは竹のような強さを感じていたのが，大根となり，終りは使いようによってはこれより長いものも，また短いものもある。

木船の歴史は長い。船大工さんが天然の良材を用いて一隻一隻つくっており，注文生産で，お好み料理をつくるようなもので，古い習慣が残っている。

そして次第に適材の入手難が船価の高騰を来しつつある。

すなわち小型漁船は，現在，工業ではなく，工芸の域にとどまっているといえよう。

★

木船とともに，すぐ思い浮ぶのが鋼船である。戦前海軍を中心として，重量を軽くするために電気熔接が研究され，戦後は，さらにヒズミ取りの研究をすすめて技術が進歩し，朝鮮事変の造船需要をみたすため，短い期間に安い船価で鋼船がつくれるようになった。

昭和30年すぎてから，わが国が世界一の建造量を誇るようになり，今日では世界の造船量の½またはそれに近い船をつくっている。

大型商船の建造法が鋼製漁船にも及んで，大きさの下限が50トンに下り，五トン未満の鋼船もつくられた。

鋼船は，熱加工して鋼板にヒズミが残り，海水に侵されるところは腐蝕が生じ易い。腐蝕は外板の海水に接する外側の面に限らず，内側でも海水がたまるところに生じて鋼板がうすくなり，荒天時に浸水して海難の原因となる。

鋼板の外板の厚さは，強度以外に，腐蝕の予備厚さを平等に加えてきめられている。小型鋼船では外板の厚さが4.5%～6.0%となるので，よほど細い溶接棒を使って溶接しないと熱によってヒズミが生ずる。その熱をとるため更に熱を加えて水で冷やしてヒズミをとるのだが，滑面になってもヒズミが残り腐蝕し易くなる。

★

造船材として，木，鋼のほかに，特殊鋼材（高張力鋼），アルミ合金，合板，フェロセメント，それに強化プラスチックがある。

昭和30年から40年にかけて，マグロ延縄漁船の母船式操業が行われ，母船に乗せていって漁場で使う小型漁船を，いろいろ建造したはじめ，木船を使ったがプロペラ軸心の狂いを生じて，鋼船に替えた，鋼船もこのことなどから船令が短かかった。ついで高張力鋼船を造ってみたが，すぐれた特色を示さず，それではと鋼びないアルミ合金の造船を試みたのである。とくにアルミ板の接合を苦心して熔接で行なったが，漁場で操業中に，熔接のところにキレツができ，今度はリベット接合をしてみた。ところがリベットの頭に欠点ができて水洩れが生じたのである。

そして，マグロの鮮度保持のため，延縄小型漁船にも冷凍機が必要になり，船自体の重さも増加し，軽い船体が要求されるようになり，強化プラスチックで造船したのである。これは19トン型であり，専門家の毎年の上架調査で，合格したのであった。

フェロセメントの船は，丸棒と金網を幾層にも重ね合せ結び合せて船型をつくり，これにフェロセメントを塗りつけてつくる。国連のFAOの漁船課長トラウングさんから資料をたくさん頂いたが，造るときよほど枠を堅固に，段取りよくしないと，重さでダレることがあり，左右対象にならぬことがある。

造船材を数種にわたって比較したが，強化プラスチックが，目下のところ適当していると思われる。

★

たまたま北海道海運局長の努力で船舶振興会の補助金により，道東地区コンブ船の標準船型を作製することとなり，2.9トン型と9トン型をまとめてみた。それが第1案から第4案までである。漁業者は第1案を選ぶむきがあり，性能上は第4案が適当とみられる。

木船を，毎日の履物でいえば下駄とすると，靴をプラスチック船にあてはめ，靴にはき馴れる，すなわちプラスチック船を使いこなすことが，今後，漁業者も必要となってこよう。

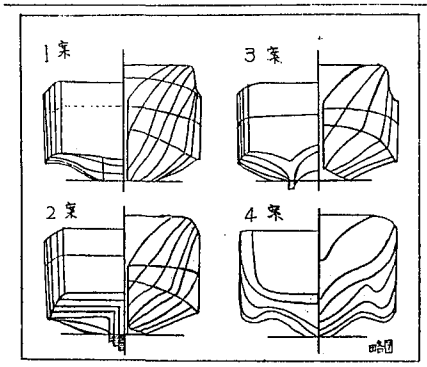
★

以上が，高木博士のパンフレットを，ごくかいつまんで紹介した要点である。

しかし，第一案から第4案については，高木博士の説明もあり，その概略は別の機会にゆずるとして，とくに使い慣れた木船と同じ考え方で別な材質の船を使うのではなく，別な材質はその材質を生かす使用方法をよく知らねばならないということは銘記するべきであろう。

瀬戸内海小型底びき網合理化研究会（水産庁設置）の委員でもある高木博士の御意見が，小型底びき網漁船の強化プラスチック標準船型の技術開発に大きく貢献するものと思われる。

（県水産課吉中）



北海道コンブ船標準船型（2.9トン～9.0トン）

廃船（漁船）の処理を早く

〝海をきれいにする運動〟卒先して

各方面の支援を得て〝海をきれいにする運動〟が大きく展開されているとき，漁業者としても，卒先して港内等に放置されている廃船（漁船）を処理しよう。これには，漁業協同組合が責任をもって，市町，消防関係と連絡をとり，焼却等の措置を行なおう。なお県水産課では毎月，処理の報告を求めることにしている。（県漁連）

随筆

今年の「え・おと」

助川助六

今年の「え・おと」即ち通俗的に云うところの「えと」は、十干（じゅっかん）の壬（じん）と、十二支（じゅうにし）の子（ね）の組み合せによる壬子（みずのえね）の年である。十干十二支は、一〇種類の幹一二種類の枝という意味である。

つまり、十干とは、甲乙丙丁戊己庚辛壬癸を云い、十二支とは、子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥を指すのであるが、中国古代の伝説中の帝王といわれる黄帝が、山を開き、道を通じ、文字をつくり、蚕業を起し、次いで音楽と共に暦法の基を定めたときに、十干十二支の組み合せを行なったという。そのころは、単に目次をしるすのに利用したらしいが、後漢の世祖、光武帝（西紀二五―五七）の時代には年月日時の順次に使われ、このころに十干十二支を陰陽五行（木火土金水）に割りあてて陽を示す兄（え）と、陰をあらわす弟（おと）をつけて訓んだといわれる。即ち甲（きのえ）丙（ひのえ）戊（つちのえ）庚（かのえ）壬（みずのえ）は、兄（え）にあて。乙（きのと）丁（ひのと）己（つちのと）辛（かのと）癸（みずのと）を、弟（おと）に配合しているが、日本では干支と書いて「えと」と約音便で読んでいるのが実情。本来は「え・おと」と発音するのがたてまえらしい。

この十干と十二支の組み合せは、六〇周期で一巡し、六一年めに同じ配合に帰るので、六一年めを還暦と称し、還暦祝はここから出たのだと云う。日本では中国の陰陽五行説を古くから暦法にとりいれ、十二支を、鼠（子）牛（丑）虎（寅）兎（卯）竜（辰）蛇（巳）馬（午）羊（未）猿（申）鶏（酉）犬（戌）猪（亥）の生類に見たてて、十二生肖と称えている。肖（しょう）は、似る、なぞらえる、の意味で、生肖は「みたて生類」ということである。

暦は日読（こよみ）として、日をかぞえる意味で親しまれているが、本当は、日づけをきめる原則や方法を指すのだといわれる。日本では中国暦または中国暦形式の太陰太陽暦が利用されたが、日本人によって始めてつくられた暦は、貞享（じょうきょう）暦である。貞享元年（一六八四）一〇月二九日に保井算哲が作製して勅許をとり、七〇年後に宝暦暦が出現するまで採用されていた。また寛政暦には外国の暦計算の方法が取りいれられたりしたが、次の天保暦は、明治五年十一月九日に廃止令が出されるまでの、最後の太陰太陽暦であった。この様な暦本は、発行される土地別によって、京暦、三島暦、伊勢暦、会津暦、薩摩暦、泉州暦などと呼ばれていた様子で、京暦（京ごよみ）や伊勢暦の呼び名は今だに芝居や大衆小説などに登場してくる。

十干十二支は、暦法に欠かせないものであるが、古来の伝統と慣習の積み重ねから、人事の吉凶禍福、成否得失の判断にも利用されている。このことは、ひのえうまの女性が嫌われる迷信などを生み、三りんぼうは、悪い目として新築や工事始を忌み、三隣亡の字が示す様に、隣り近所にまで迷惑のかかることを示している。

また観相と一脈通ずる運勢判断では、十干十二支は、姓名判断や家相にまで干与しているが、今はやりの毛相やケツ相のたぐいは、どうであろうか。姓名判断は、姓名字の音韻の配合、文字の画数の奇数偶数に依る許りでなく、冒頭に述べた陰陽五行説に絡んでいることを、私は最近になって知った。俗に「うけに入る」という有卦七年、無卦五年の、いわゆる順調と逆境が、古来の姓名判断に刻まれている。けだし字画に頼るだけの新しい姓名学は、意味がないという異説である。むしろ顔相の方が確かだといわれる。たとえて云えば、縦じわが数多く識別できる唇をもつ女性は、多産系であって、字画だけに依存する姓名学では知るすべがないと云う事らしい。

ともあれ、今年は壬子（みずのえね）の年。子（ね）になぞらえる鼠は、ふだんなら毛嫌いされるところを、神聖な動物と見做され、とくにシロネズミは大黒天の使いと称され、正月にはネズミの年玉と云って、餅を供える風習もあるらしい。また、ネズミが家中でさわぐのは変事の前兆とされ、火事の前にネズミが居なくなる説と共に広く伝えられている。老爺がネズミから宝物を貰う話。信心深い老婆がネズミのおかげで、泥棒を追い返す話。鼠という漢字は、いやらしいが、カタカナで書くと、右の様な民話的なイメージをいだいてしまうから妙である。

子（ネズミ）は、十二支の第一番目にかぞえられるので「すべての始りなり」といわれるし、先ず子は開運の家に巣をつくると云う。即ち子（ね）は家の守りとして新しい年の福を運ぶ伝承があるためである。私も年々才々白髪を増しているが、ひょっとすると、シロネズミならぬ福運の子（ね）になぞらえられるためであるかもしれない。拓水の読者諸氏よ、みずのえねの年始にならい、財福円満なることを祈念する次第である。

（水試但馬分場長）

デトリタス

海の表層で生産されたプランクトンや水中を遊泳する魚類などが、生きたまま、あるいは死がいとなって海底に沈澱し、またはたまっていることがある。これをデトリタスという。沿岸の浅海では、表層からの生物の沈降は非常に多いが、それ以上に陸からの浮泥が多量に沈積する。ここでは死がいなどの有機物から無機物への分解途中にあるものと、海底の砂泥とが混合して、ふわふわとしたかゆ状態のデトリタスが形成される。デトリタスは濃縮された栄養源として、細菌、原生動物、ワムシ類などに摂取され、さらにこれら微細な生物とデトリタスの混合物は大形のデトリタス捕食動物、とくに底生性の無脊動物の重要な餌料となっている。デトリタスはこのように海洋の栄養循環の中で大変重要なものであるが現在まではこの分野の研究は少なく、はっきり判っていない事が多い。

（菅）

満潮廿四光

川野組合長さん（16）

悠久の潮の流れは廿四彩に光りつつ、こと紀淡の瀬戸に元朝の日がのぼる

漁協の理事になって三十年

組合長に就任なさって八年余

漁村の発展のため、ひたすらこの道に挺身なさってきた由良漁協の川野組合長さん。

その間、いろんなことがあったと感慨ぶかげに初み空に目をやる。

「いろんなことで」と片付けてしまうにはあまりにも惜しいが限られた字数ではレイアウトがゆるしてくれない。

そこでこれからの郷土の漁業の発展策はと話題を変えると、

「小さな漁村に三つも漁協があること自体が不自然で、同じ地先で働く漁民は、内に秘めたエネルギーを結集して漁協の経済的、社会的役割から、それらの本質をよく見極め協力一致し、その使命達成のためには合併が第一条件で具体的な計画はその後だ」と力説なさる。

ぼくは大きくうなづく人口七千余の聚落に漁協が三つと、その連合会があるのは、日本広しといえどもおそらくここぐらいではなかろうか。

熱が入ると声が一きわ、あたりを圧するが堂々とした風韻が更に声を張り上げ

「適正資本主義下では、適者生存の自然の法則により目まぐるしく変転する情勢に対応しなければ発展はありえない。しからざるものは後退あるのみ」

と長い歴史観に立って判断なさる。漁業法が改正された時、旧法による専用漁業権の証券を三つに分割することが合併を遅ざける基だ、アメリカの細分化の政策にのらず、合併するまでその証券を一つに残しておくべきだと国や県に主張されたそうだが、その時から既に分化の危機を叫ばれていたとか。

ここでもぼくは大きくうなづく。

「幸い販売事業が一本化し合併の基礎づくりの段階も終盤をむかえ、いよいよ花咲き、実を採る合併史の新しいチャプター（一章）の今年こそ、創造性と返代化への意欲を失わず、大型化、ユニット化経営をなしとげる年だ」

と再び声を大にした。その青年のようなフィーリングが、いかにも頼もしい。

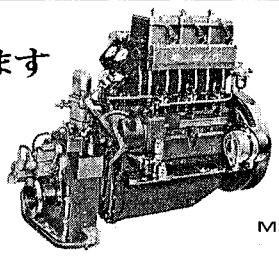
新しい対ドルレートは一ドル三〇八円。この嵐は悲観と楽観が入り乱れ、今年はきびしい世想になりそうだ。

満潮の海峡はいつしか平和な海が染めていた。組合長の煩にもぼくのほほにも

余裕馬力の差が
大漁をお約束します

新発売

● 内海沿岸漁業に最適
M3Q＝30馬力 1400回転
● 内海沿岸の底引きに最適
3QC＝農林15馬力
1200回転



M3Q

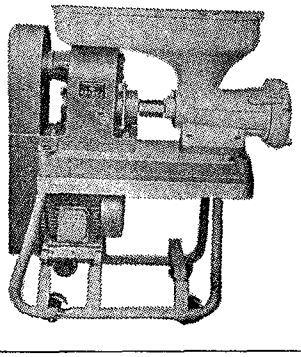
ゆたかな人間環境つくり

クボタ マリンディーゼル

久保田鉄工

本社・大阪市浪速区船出町2丁目 電631-1121 振556
高松営業所・高松市内町1の13 電51-7931 振761-11
東播支店・電223-2111 振103
北海道支店・電231-8271 振660
播磨支店・電74-6231 振810
広島営業所・電21-0901 振730
名古屋支店・電563-1511 振450
実開営業所・電4-3585 振050
仙台支店・電25-8151 振980
ディーゼル工場・電41-1121 振590

養魚の調餌と造粒は
コウベヒラガのミートチヨッパーで



養魚用ミートチヨッパーNo.32からNo.72まで各種製作しています。
又最近の人工餌料需要の増加にともない生魚と人工餌料をよく練り合せ造粒装置付チヨッパーで給餌することもできます。

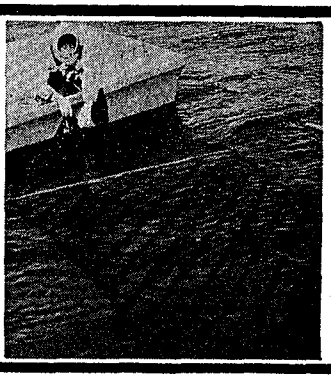
（御一報次第カタログ贈呈いたします）

ミートチヨッパーとプレート，ナイフの専門工場
株式会社 平賀工作所　神戸市長田区水笠通3丁目8 TEL 代表神戸(078)62―1527

クラレ
クレモナ
海苔網
（冷蔵網）

海苔養殖の頼もしい担い手

おかげさまで合繊海苔網の95%以上にクレモナが使われています



クレモナたから海苔網
富山式クレモナ海苔網
タイトウのクレモナ海苔網
アミカン式クレモナ海苔網
ヒラタのクレモナ海苔網
クレモナふしなし海苔網
クレモナまるきよう海苔網
クレモナせと海苔網
クレモナブゼン海苔網
クレモナスズラン海苔網
クレモナケンモウ海苔網
クレモナ光鯛海苔網
〈順不同〉